

かたがたの子

5月号

令和5年4月28日
全校児童数 75名



令和5年度学校経営の全体構想

＜学校教育目標「自ら学び、心豊かでたくましい方県の子」を具現する3つの力＞

これからの未来社会 Society5.0 では、仮想空間と現実空間を高度に融合し、これまで経験したことがない生活や仕事の仕方が展開される社会です。この社会を生き抜くために一人一人に自律・共生・創造の力が必要となることは、OECD（経済開発協力機構）をはじめ、日本を含む世界各国の教育機関で示されています。

本校の学校教育目標にもこの3つの力が含まれており、学校教育目標の達成を目指して教育を展開していきたいと思っています。

自律	・自分で思考判断し行動できる。 ・自分で計画を立て行動できる。
共生	・違い認め尊重し、誰一人取り残さないようによりよく生きる。
創造	・常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。

＜3つの力を育む4つの活動＞

この3つの力を育むために、「仕事（学習）」、「催し」、「遊び」、「対話」の4つの教育活動を中心に取り組んでいきたいと思っています。私たち大人もこの4つの活動をリズムよく展開し、生活を営んでいます。社会へ出る準備をするところが学校だとすると、この4つの活動で子供たちを教育していくことは必然です。

（1）仕事（学び）・・・「個別最適な学び ～学び合い・自由進度学習～」

これまでの授業は、教員の指示ですべての子供が一律・一斉に学ぶ授業スタイルでした。これからの授業は、子供は考え方や能力、性格等は一人一人違うことを認め、一人一人に合った個別最適な学びが展開する授業スタイルに変わっていきます。本校では、算数を中心に、自分から学び、わからないことは聞き合いながら学び進める「学び合い」や「自由進度学習」に取り組みたいと思います。



算数で個別最適な学びを展開する子供たち

（2）催し・・・「異年齢の学び ～方県なかよしスクール～」

社会に出ると、年齢や性別、文化や考え方等の違う人と仕事をしたり生活したりすることとなります。同年齢で過ごす機会が多い学校生活ですが、月に1回、1年生から3年生までの学級と4年生から6年生までの学級を編成し、1日または半日、遊んだり学んだりする時間「異年齢の学び ～方県なかよしスクール(仮称)～」を開催したいと思っています。また、併せて1年生から6年生までの縦割り遊びも充実させていき、違いを認め合いながらみんなが幸せになれる時間を子供たちの手で創り出すことを大切にしていきたいです。

（3）遊び・・・「自発的な活動（遊び・学び）の充実（自治活動）」

人は、いくつになっても遊びが大好きです。それは、興味・関心が高いものに取り組む自発的な活動だからです。学校では、「言われた通り行動する教育」から「自発的に行動する教育」に転換していきたいと思っています。

自律・共生・創造をフルに働かせる教育活動を展開することで、未来社会を生き抜く力を育てていきたいと思っています。